



一般部門 農林水産大臣賞

特定非営利活動法人 だいできっず

(愛知県高浜市)

だいできっずの食育モデルを日本各地へ、そして世界へ

一般市民、養護学校、福祉団体児童、関係企業の家族などの親子を対象にした「だいできプロジェクト」(大豆の種まきから収穫、豆腐作りまでの一連の体験活動)を主軸に、食育活動に取り組んでいます。



食育の原点は家族にあり。そこで生まれる食の原風景を幼い頃にどれだけ作れるかが大事だと思います。子ども達が大豆の力を体感して、大人になったら自ら栄養を創り出せる人になることを願っております。活動を支えてくださった多くの方々に感謝申し上げます。



特定非営利活動法人だいできっず
代表理事 沢田 和英

多種多様な農業体験機会の提供

平成18年に前身のだいできっず倶楽部を設立、平成23年にNPO法人化し、「食育」、「共育」、「ペイフォワード(将来につなぐ)」をテーマとして、家族での参加を基本に、食育の3C(美味しい、嬉しい、楽しい)が感じられる体験を実施。「だいできプロジェクト」を柱として、塩・にがり作り、石窯づくり、石臼きな粉体験などを行い、年間延べ1,600人の方に参加していただきました。



紙芝居



豆腐作り体験

地域との連携や海外との交流

「だいできプロジェクト」では郷土への愛着と理解を育む米や伝統野菜づくり、用水路の学習、食品メーカー(みりん、こんにゃく、漬物など)と広く連携した体験活動を実施。イベントでは「食育屋台」(枝豆スープ、豆腐づくり)で情報発信しています。また、海外支援団体と連携し、ケニアなどと交流。普遍性のある食育活動の普及を目指しています。



「だいできっずケニア」の収穫祭



塩・にがり作り体験